

From Costa Rica

マルビン・ヘレラ 氏

国立工科大学
品質生産センター(UIN-CEFOF)
コンサルタント



カ イゼンに出会ったのは1994年のこと。日本企業のカイゼン活動のビデオを見たのですが、正直なところ、コスタリカで実現するのは難しいのではと感じました。JICA専門家の指導の下、モデル企業で試験的に導入した時も、自分の仕事以外のことに取り組み習慣がなく、なかなか受け入れられず苦労したのを覚えています。でも私自身、JICAの研修で日本企業を視察して考えが変わりました。何となくでもコスタリカに浸透させたいという思いが強まったのです。

当初の苦労はありましたが、やはり百聞は一見に如かず。コスタリカの企業人も、「整理・整頓の日」や5Sの取り組みを議論する場を設けるなど、小さな積み重ねから生まれる効果を肌で実感することにより、少しずつ、自主的にカイゼン活動に取り組むようになっていきました。

現在はUIN-CEFOFを拠点に、中米各国の中小企業支援機関とネットワークを形成し、域内の生産性向上に取り組んでいます。私たちが長年にわたって習得したノウハウは他国でも応用できるはず。そう信じています。



中米カリブ地域

「中小企業の品質・生産性向上に係るファシリテーター能力向上プロジェクト」 (2009年～)

コスタリカの中米域内産業技術育成センターと協働で、域内のネットワークを形成・活用し、品質・生産性向上のための人材育成を支援。第三国研修やセミナーなどを実施する。
(⇒左コラム参照)

ハンガリー

「生産性向上プロジェクト」 (1995～99年)

市場経済への移行に伴って設立されたハンガリー生産性センターの能力強化を支援。企業診断などに必要なノウハウを指導、国内の生産性運動をリードする人材が多く育成された。

ブラジル

「生産性・品質向上」 (1995～2000年)

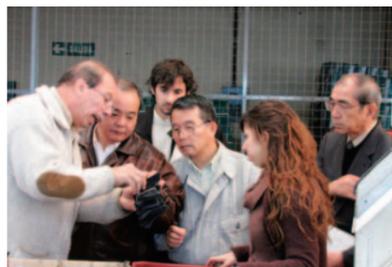
生産性向上の概念と技術を普及するため、経済活動が活発な南部の品質・生産性機構パラナ州支局の能力強化を支援。セミナーの組織的運営、コンサルティングサービスの実施体制を確立した。



アルゼンチン

「中小企業活性化支援計画」 (2004～06年)

中小企業の競争力強化を目的に開発調査を実施。中小企業を取り巻く現状把握、モデル企業へのカイゼン活動の導入を通じて、経営・生産管理技術の普及体制に対する提言を行った。



エジプト

「生産性・品質向上センタープロジェクト」 (2007年～)

産業界の競争力向上を目指し、生産性・品質向上センター(通称:カイゼンセンター)を設立。生産性・品質管理分野のコンサルティング、研修やワークショップの自立的実施を支援。



モルドバ

「企業生産性向上プロジェクト」 (2005～06年)

モデル企業で生産性向上を達成するため、コンサルタントと企業が協働で行うカイゼン活動を推進。その成果を他の企業と共有することで、国内全体で生産性向上を図った。



タイ

「生産性向上プロジェクト」 (1994～2001年)

中小企業の実産性を改善するため、タイ生産性本部と協働で企業へのカイゼン活動の導入を支援。多くの企業で新たな生産管理の手法が採用され、生産性活動が広く普及した。



世界に広がる カイゼン MAP

JICAの支援により、世界各地に広まりつつある日本式の「カイゼン活動」。その一部を紹介。

日本

「シリア総合経営管理」コース (2006年～)

シリアの企業経営幹部や企業支援業務を担う工業会議所の職員を対象にした研修。日本企業の視察を通じ、実践的な経営管理、品質・生産管理、生産性向上について理解を深める。

カンボジア

「生産性向上に重点を置いたパイロット中小企業支援プロジェクト」 (2010年～)

世界金融危機により打撃を受けた中小企業のパフォーマンス改善に貢献すべく、企業診断やセミナー開催などを通じて得られた知見を基に、政策レベルでの中小企業支援戦略を策定する。



シンガポール

「生産性向上プロジェクト」 (1983～90年)

JICA初のカイゼン支援事例。シンガポール国家生産性庁(現在の企画・生産性・革新庁)に、企業診断や品質管理のノウハウを伝授。200社以上でカイゼン指導を実施、約200人が日本での研修に参加した。
(⇒左コラム参照)



From Singapore

ラム・チュン・シー 氏

ホウシンコンサルティング
代表取締役社長



今 から25年前、偶然手に取った新聞で「国家生産性庁、日本に派遣するコンサルタントを募集」という記事を目にしました。日本で生産性向上のノウハウが学べる。高度経済成長期の日本企業の躍進に興味を持っていた私は、当時勤めていた会社を退職。3か月半、日本でJICAの研修に参加しました。

日本で初めてカイゼンの現場を見た時の印象は、「ショック」の一言に尽きます。どこに行っても経営陣の熱意は相当なもので、社員の自主性を尊重している点に感銘を受けました。シンガポールも負けてはいられない。そんな思いでJICA専門家と協働で、中小企業に対して社員提案型の5Sの取り組みを指導してきました。

現在はコンサルティング会社を立ち上げ、東南アジア諸国連合(ASEAN)域内の中小企業の実産性向上に取り組んでいます。少しずつ5Sを理念に掲げる企業も増えてきましたが、現場レベルで見るとまだ十分なものではない。私が日本から学んだ知識を還元すべく、これからもカイゼンの普及に努めていきたいと思っています。